
逃走中 ～謎の人物との対決～

筆筒の角

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

逃走中 〈謎の人物との対決〉

【Nコード】

N1237BA

【作者名】

筆筈の角

【あらすじ】

舞台は、とあるSA。サービスエリア。ゲームマスターは、ここで逃走中を催すが、謎の人物が妨害を謀る。果たしてゲームマスターは、妨害に負けず、無事逃走中を成功させることができるのか！また、80分間逃げ切り、96万円を獲得する者は現れるのか！！

ご挨拶（前書き）

ご挨拶です。

ご挨拶

初めまして！新しく小説を書く筆筒の角です！逃走中を中心として、書いていくので、応援宜しくお願いします！！

逃走中は、ジャンプの頃から見ている、すごく書きたいという想いがあったので、書けることを凄く幸せに感じているので、精一杯頑張ります。でも初心者なので、拙い文章になってしまうかもしれませんが、ご理解の程、宜しくお願いします。

オリキャラではなく、アニメキャラが出る作品に仕上げていこうと考えています。こちら、ご了承ください。

ご挨拶（後書き）

次回は、概要と逃走者紹介と意気込みです。

概要、逃走者、意気込み（前書き）

今回は、大まかな情報です。

概要、逃走者、意気込み

（エリア詳細）

今回の舞台となるのは、「とある高速道路のサービスエリア」。駐車場に停まっているトレーラーで隠れることができ、また施設内にも潜伏できる。広さは、およそ東京ドーム2個分。なお、一般客も混じっている。

下半分・・・駐車場（トレーラー駐車）

施設・・・中央館（1F	お土産屋	2F	レストラン	3
F	ゲームセンター）			

西側・・・トイレ（自首用電話設置）、コンビニ、コインロッカー

東側・・・展望台、そよかぜ広場（牢獄設置）、公園

施設の入り口付近・・・屋台（全長400m）

施設の裏・・・歩道（道中の草むらに潜伏可）

（逃走者）

今回は、3作品より16人の逃走者が、80分間のゲームに挑む。

☆マリオシリーズ

・マリオ

・ルイージ

・ワリオ

・ワルイージ

・ピーチ

・デイジー

☆ボーカロイド

・初音ミク

・鏡音リン

・鏡音レン

・KAITO

☆けいおん！

・平沢唯

・秋山澪

・田井中律

・琴吹紬

・中野梓

・山中さわ子

以上、16人。

（意気込み）

Q 目標金額は？

ルイージ「96万円です！！！」

ワリオ「当然96万円だ！ワリオ城建設のためにもな！ガッハッハ！！！」

リン「40万円位ですかね・・・」

律「全額の96万円だ〜！」

さわ子「そうね・・・60〜70万位は欲しいわ。」

Q賞金の使い道は？

マリオ「最近休みないからな・・・バカンスにハワイでも。」

デイジー「う〜ん、特に考えてない・・・」

KAITO「アイスを買えるだけ買います！！」

レン「ロードローラーの頭金にしようかと。」

唯「美味しいものを食べ歩きたいな〜」

梓「新しい機材を買いたいです。」

Qハンターから逃げ切れる自信は？

ピーチ「あまり無い・・・かな。」

ワルイージ「曲がり角をつかって、逃げ切りたいなあ。」

ミク「まず見つからないことを優先にしたいです。」

湊「微妙だな・・・たぶんムリだと思う・・・」

紬「殺気でハンターを感じられたらと・・・」

概要、逃走者、意気込み（後書き）

次回、いよいよゲームスタート!!!

ゲームスタート! (前書き)

スタートは1番トレーラーからです。

ゲームスタート!

30XX年 とあるビル内にて

ゲームマスター「さあ、ゲームの始まりだ・・・」

といいながら、(forward)と書かれたパネルをタッチする。

すると、2体のハンターがエリアに転送された!

一方・・・

??? 「ゲームマスター。君のゲームを、ちよいと妨害させてもらうよ。フッフッフ・・・」

マリオ「逃げろー!!!」

15人「オー!!!」

ゲーム前、エリアに散らばる16人の逃走者達・・・

KAITO「どこに隠れよう・・・」

唯「ハンターはどこから来るのかな？」

ピーチ「ここにしましょう！」

レン「え？もう放出？」

ゲームスタートまで

10

ワルイージ「もう来る！」

9

律「ヤバイヤバイ・・・」

8

ルイージ「怖いよお・・・」

7

ミク「ここかな？」

6

紬「こちら辺で。」

5

ワリオ「離れたところにしておくか。」

4

リン「どうしたらいいか分かんない・・・」

3

さわ子「いよいよね・・・」

2

デイジー「ここだ!!」

1

梓「うう・・・緊張します。」

START

残り80..00

0円

プシューーーーーー!ガコン!!!!!!!

エリアに2体のハンターが放出された！

滞「始まった・・・賞金も増えてるし・・・」

2体のハンターから逃げた時間に応じて賞金を獲得できる。それが・・・

R u n f o r m o n e y

逃走中

17

今回の舞台は、とあるサービスエリア。広さは、およそ東京ドーム2個分。

この中を、16人の逃走者が逃げ回る！！

ワリオ「おお！増えてる増えてる♪」

賞金は、1秒200円ずつ上昇。80分間逃げ切れれば、何人でも96万円を獲得できる。

唯「うーん、自首もあかな・・・」

また、このゲームは自首もできる。エリア内1ヶ所に設置された自首用電話から、

自首を申告すれば、その時点までの賞金を獲得できる。

但し、2体のハンターに捕まれば、賞金は0！

驚異のスピードとスタミナを持つハンターから逃げるのは、容易ではない！！

スタッフ「（ミッションには参加されますか？）」

ミク「行きます！頑張れば、マスターがご褒美くれるし！！」

果たして、ご褒美GETなるか・・・

梓「あ、唯先輩だ。」

唯「あ！あゝずにゃん！！」

梓と唯が合流。

梓「ちょっと・・・やめて下さい唯先輩！」

唯「いいじゃ〜ん」

逃走中でも、スキニシップは欠かさないようだ・・・

デイジー「レストランに行こう。」

移動を試みるデイジー。その近くに、ハンター。

ハンター「・・・・・・・・・・」

デイジー「ハンターに見つかりませんように・・・」

ハンター「・・・・・・・・・・」

二人の距離が、どんどん縮まる・・・

デイジー「あ。見えてきた・・・ってハンター!!!!!!」

ハンター「・・・・・・・・・・!!!!!!」

見つかった・・・

出会い頭だったため、距離はすぐに縮まり・・・

ポン！！

デイジー 確保 残り15人

デイジー「祈ってたのに」

祈り、届かず・・・

ワルイージ「メールだ。」

確保などの情報は、メールで知らされる。

紬「屋台通りにて、デイジー確保。残り15人。」もう確保者が・・・」

KAITO「怖い怖い・・・」

レン「ここから、ハンターとか見えるな。よし、ココを拠点にしよう！」

早くも拠点を決めた、ボーカロイド。

レン「見つかりやすいのがマイナスだけど・・・」

この作戦、成功するのか……

マリオ「もう5分・・・6万円!？」

さわ子「これはいい稼ぎになるわ♪」

その頃、ゲームマスターはというと・・・

ゲームマスター「そろそろミッション発令だな。」

と言い、(mission)とかかれたパネルをタッチするゲームマスター。

シュン!!

エリアに、3つのハンターボックスが設置された!!

この存在が、逃走者の欲望を掻き立てることになる・・・

??? 「よし、コレで行こう。」

また、謎の人物によって、ミッションの難易度が上がる!!

ゲームスタート! (後書き)

? 次回、ミッション1発令!! 3つのハンターボックスの意味とは!

ミッション1発令！（前書き）

ついにミッション1が発令！その時逃走者は？

ミッション1発令！

残り70..000

120000円

ピリリリ　ピリリ♪

濤「ヒッ！！メールか・・・」

ピーチ「ミッション・・・来た・・・」

KAITO「「これより賞金アップのチャンスを与える。」」

ワルイージ 「残り60分までにエリア3ヶ所に設置されたハンターボックス

の隣のレバーを下ろせば、残り60分にハンターが放出される。」

紬 「しかし、それと同時に1体放出につき100円賞金単価がアップする。」

何?・・・このミッション。」

ミッション 賞金単価をアップせよ!

逃走者に、賞金アップのチャンスが与えられた。ゲーム残り60分までに、

エリア3ヶ所(公園、中央館2F、コンビニ前)に設置された

ハンターボックスの隣のレバーを下ろせば、残り60分にハンター

1が放出される。

しかし、放出と同時に、1体につき100円賞金単価がアップする。

0体放出	1秒200円	賞金96万円
1体放出	1秒300円	賞金132万円
2体放出	1秒400円	賞金168万円
3体放出	1秒500円	賞金204万円

しかし、放出すると、確保の確率が高まる。果たして、逃走者は賞金増額か身の安全のどちらを選ぶのか！？

ルイージ「ハンター増やしたくないから、パスしよう。」

レン「賞金は欲しいけど・・・ハンターは増やしたくないから、行かない。」

ミッションに行くか行かないかは、逃走者の自由だ。

ワリオ「行って損はないな・・・よし行こう!!」

律「一番近いのは公園かな・・・行ってみよう!」

ミク「コンビニの前にいてみようかな。」

ミッションに向かうのは、ワリオ、田井中律、初音ミクの3人。

しかし動けば、

ハンターに見つかるリスクが高まる！

梓「唯先輩、ミッション行きますか？」

唯「私に行かないよ。あずにゃんは？」

梓「私も行きません。ハンター放出は嫌ですし。」

ミッションに向かわない二人。その前から、ハンター。

ハンター「……………」

唯「ギー太大丈夫かな」

梓「いや、そんな心配してる暇は・・・ってハンター!!」

ハンター「・・・!!」

ハンターも、二人に気がついた! 距離は、およそ60m。

唯「あずにゃん、二手に分かれよう!」

梓「はっ、はい!!」

二手に分かれる梓と唯。ハンターが視界に捉えたのは・・・

梓「なんで私〜!？」

梓だ・・・

ハンターが、徐々に距離を詰める。

ハンター「(LOCK ON AZUSA)」

梓「はあ、はあ、もうダメ〜!!」

ポン!

中野梓 確保 残り14人

梓「あゝ捕まっちゃった。早いです・・・」

早々に、確保・・・

リン「確保情報だ。」

滯「中央館付近にて中野梓確保。残り14人。」梓捕まったか
」。」

唯「うわあゝん、あずにゃん!! (泣)」

ワルイージ「もう二人捕まってる・・・」

その頃、律が公園にあるハンターボックスに到着。

律「よし、レバーはどこかな・・・あったあった。」

早速レバーを下ろす。

律「よし下ろすか！」

ガシャン！！ シーン・・・

律「・・・・・・・・あれ？ボックスが起動しないぞ？」

そこへ、ワリオが合流。

ワリオ「何してんだ？」

律「レバー下ろしたのにハンターボックスが起動しないんだよ！」

ワリオ「何だって？」

戸惑う二人の背後から、ハンター。

ハンター「・・・・・・・・・・。」

ワリオ「一体どうすればいいんだ？」

律「ん？ハンター来てるよ！」

ワリオ「マジかよ！とりあえず逃げるぞ！！」

ハンター「・・・・・・・・・・！！」

ハンターが、二人の姿を捉えた！

果たして、ワリオと律は逃げ切れるのか！？

一方・・・

ゲームマスター「これは一体・・・」

??? 「フフフ・・・さあこの仕掛けにいつ気づくかな？」

ミッション1発令！（後書き）

謎の人物がハンターボックスに施した仕掛けとは！？

ハンターボックスの秘密（前書き）

ハンターに見つかったワリオと律。果たして、ハンターから逃げ切れるのか！？

そして、ハンターボックスの秘密が明らかに！！

ハンターボックスの秘密

ワリオ「ヤバい！逃げるぞ！！」

律「でもミッションはー！？」

ワリオ「そんなもん後でいいだろ！」

別々に逃げる二人。

ハンター「……………？」

二人とも、うまく撒いたようだ。

ワリオ「ゼエ、ゼエ・・・危ね。」

律「でも離れちゃったなあ。」

しかし、ハンターボックスから距離が出てしまった！

一方・・・

ミク「やっと着いた。」

初音ミクが、コンビ二前のハンターボックスに到着。

ミク「よし下ろすぞ！」

ガコン！！

シーン・・・

ミク「あれれ？」

公園のハンターボックスと同様に、レバーを下げててもボックスが起動しない！！

ミク「何で・・・？ん、これは！？」

律「そーいやさっきのボックス・・・」

ミク・律 「レバーがもう1本あった!!」

そう、謎の人物の手により、ハンターボックスのレバーがもう1本追加。

これにより、二人同時にレバーを下ろさなければ、ハンターボックスは

起動することができない!!

ミク「えー、じゃあもう一人必要ってこと？」

一人では、ハンターボックスは起動できない!!

律「ワリオに電話しよう。」

ワリオ「電話？ 律からか。もしもし？」

律「ワリオ？ 今どこにいる？」

ワリオ「公園の傍の公衆トイレの裏だ。」

律「お願い、さっきのボックスのところに来て！レバーが2つあって、私一人じゃ起動できないんだ！！」

ワリオ「よしわかった！今向かう！！」

ミッション終了まで 5分

ルイージ「あれ、ミクさんだ。」

偶然、ルイージが初音ミクを発見。

ルイージ「何してるの？」

ミク「実は・・・」

(説明中)

ルイージ「なるほど・・・」

ミク「はい。なので、一緒にレバーを下ろしてもらえますか？」

ルイージ「でもハンター放出は嫌だし・・・」

ミク「賞金増えたら、獲得したときの喜びも増えるんですよ！」

ルイージ「うーん・・・わかった、下ろすよ!!」

ミク「ありがとうございます！」

折れたルイージ・・・

ミク「いきますよ・・・」

ルイージ「OK！」

ミク・ルイージ「せいの・・・」

ガコン!!×2

ハンターボックス 起動

ミク「よし、起動完了！」

ルイージ「早くここから離れよう!!！」

これにより、ハンター1体放出&賞金単価100円アップが確定。

マリオ「誰もミッション行っていないよな・・・」

さわ子「いまのままで十分よ・・・」

濤「（ブルブルブルブル・・・）」

ワリオ「よし、着いた！」

ワリオが、再び公園のハンターボックスにやってきた！

ワリオ「あとは待つだけか・・・」

律「あ　見えてきた！」

ミッション終了まで　3分

律の位置から、公園まではおよそ200m。果たして、間に合うのか！！

ハンターボックスの秘密（後書き）

次回、ミッション1終了！賞金単価はいくらに！？

ミッション1終了!賞金単価はいくら? (前書き)

遂にミッション1が終了!賞金単価&ハンターの行方は!?

ミッション1終了!賞金単価はいくら?

ミッション終了まで 1分30秒

律「あつ、ワリオいる。」

ようやくハンターボックスに着いた律。

ワリオ「おい、遅いぞ。」

律「ゴメンゴメン。じゃあ早速下ろそう。」

ワリオ「ああ。」

律・ワリオ「セーの・・・」

ガコン!!

ハンターボックス 起動

律「あゝ疲れた。」

ワリオ「おい、休んでる暇はないぞ。早く離れるぞ!」

律「ああ!!」

これで、ハンター2体の放出と賞金単価プラス200円が確定。

ミッション終了まで 1分

ピーチ「1体くらいでできそう・・・」

唯「皆やってなくてなければいいんだけどな」

レン「隠れたほうがいいのかな・・・」

ミッション終了まで 30秒

KAITO「大丈夫だね？」

紬「りっちゃんならやりかねないかも・・・」

ワルイージ「なんかヤバくね？」

マリオ「ワリオとかやりそうだな。」

ミッション終了まで

10

9

8

7

6

5

4

3

2

1

0

プシュー！！ガコン！！！！！！

エリアに、2体のハンターが放たれた！！

リン「メール・・・」「ミッション1結果」

澤「初音ミク、ルイージ、ワリオ、田井中律の4人により」

ルイージ「ハンター2体追加。現在ハンターは4体。」

さわ子「倍に増えたじゃない!!何してんのよ!!」

ミク「しかし賞金は1秒400円上昇。逃げ切れば168万円獲得。」

ワリオ「まあ、いいんじゃないの。」

(牢獄d e トーク)

デイジー「あんなに札束が・・・」

梓「羨ましい限りです。」

マリオ「おいおい、やっちゃまったな」

愚痴をこぼすマリオの近くに、ハンター。

ハンター「……………」

マリオ「まったく、冗談じゃねえよ。」

ハンター「……………」

マリオ「ゲーム終わったら説教してやる。」

ハンター「・・・・・・・・!!」

ハンターがマリオの姿を捉えた! しかしマリオはハンターに気づいていない!

マリオ「あー、これからどうっすかな・・・」

ハンター「(LOCK ON MARIO)」

マリオ「まあ・・・ってマジかよ!!」

マリオも、ハンターに気がついた!!

しかし、気づくのが遅く、あっという間に距離を縮められ・・・

ポン！

マリオ 確保 残り13人

マリオ「愚痴言い過ぎたな・・・油断した。」

バチが当たった、任天堂のスター・・・

律「確保情報か。」

レン「展望台付近にて、マリオ確保。残り13人。」

ルイージ「兄さん捕まった・・・僕のせいだ・・・」

唯「やっぱりハンター4体はキツイよ・・・」

ここまで、デイジー、梓、マリオの3人が確保され、残る逃走者は13人となった！！

ミッション1終了!賞金単価はいくら? (後書き)

ハンター4体となった逃走中。逃走成功者は現れるのか!?

残り55分（前書き）

逃走中、始まるよ!!

残り55分

残り55…00 360000円

現在、4体のハンターがエリア内をくまなく搜索。視界に入った逃走者を見失うまで追跡する。

リン「もうすぐ目標の40万円か」

ワルイージ「一気に賞金上がるペースが早まったな・・・」

賞金は1秒400円ずつ上昇。逃げ切れば、168万円を獲得できる。但し、ハンターに捕まれば、賞金は0。

さわ子「あーおいしそう・・・」

2F レストランに潜む山中さわ子。美味しいものには目がないよ
うだ。

律「あれ、さわちゃんじゃね？何してんだろ。」

その近くに律と、

ハンター「……………」

ハンター。

さわ子「こっちのケーキも美味しそうね……」

律「やっぱさわちゃんだな」

ハンター「・・・・・・・・・・。」

さわ子「こっちのステーキも・・・・ってハンター!!」

ハンター「・・・・・・・・!!」

ハンターもさわ子に気づいた!!

律「ヤバイヤバイ!!」

律もハンターに気がついた!!

さわ子「何なのよ!!」

律「危なかった。」

律は1Fに降り、難を逃れたが、さわ子は2Fにいるため、袋の
ネズミである！

さわ子「イヤー、来ないでー!!」

ポン！

山中さわ子 確保 残り12人

さわ子「捕まったく皆頑張って・・・」

桜高軽音部顧問、ここに散る・・・

ミク「メールだ。誰か捕まったのかな？」

唯「「中央館2Fにて、山中さわ子確保。残り12人。」さわち
ゃん捕まった・・・」

KAITO「うわゝ、立て続けに捕まってるよ・・・」

紬「ハンターは・・・いないわね。」

エリアを移動する紬。

紬「あら？ここの草むら、なんだか変・・・」

紬の目の前には、不自然に揺れる草むらが。中には・・・

紬「これって・・・濡ちゃん？」

濡「ヒィ！？なんだムギかゝびっくりしたなあ。」

秋山濡だ・・・

紬「濡ちゃん、ハンター見た？」

濡「さっきコンビニの方に2体行ったよ。」

紬「分かったわ。ありがとう。」

残り52..00 432000円

リン「あ、40万円いった！自首しようかな？」

目標金額に到達し、自首に心が揺れる鏡音リン。

リン「でも、あと20万円分位、頑張ってみたいと思います。」

上乘せだ・・・

レン「誰かと会いたくない、一人じゃ不安だよ。」

ハンター追加に不安を感じ、他の逃走者を探す鏡音レン。

レン「誰かいないかな。あ、ヤバイ、ハンターだ。」

展望台から、ハンターを発見。

レン「逃げなきゃ!!」

ハンターを発見し距離をとるレン。しかし逃げる先に、別のハンター。

ハンター「・・・・・・・・・・。」

レン「あそこを曲がって離れ・・・・・・・・うわっ!!」

ハンター「・・・・・・・・!!」

見つけた・・・

来た道を引き返すレン。ハンターとの距離は、なかなか広がらない。

レン「ヤバイよ・・・」

その背後から、

ハンター「……………!!」

先程見つけた別のハンターが接近。

レン「後ろからも来てるし！」

挟まれた……

レン「あーもうダメだ。」

そして、諦めた・・・

ポン！

鏡音レン 確保 残り11人

レン「あー捕まった！」

唯「確保情報？」

ルイージ「展望台付近にて鏡音レン確保。残り11人。」

ミク「レン君が捕まった・・・」

ピーチ「全滅有り得るかも。だって、3分で二人も捕まっているもん・・・」

KAITO「平和だなく。」

雲ひとつない青空を見上げる呑気なKAITO。

KAITO「このままミッション無ければいいのになぁ。」

ゲームマスター「そろそろ次のミッションを出すか。」

と言って、ゲームマスターは、(mission)と書かれたパネルにタッチする・・・

???「そう来たか・・・ならばこれでどうかな？」

シュン！

謎の人物の操作により、エリアに謎の装置が出現した!!

ゲームマスター「この装置は・・・こうしちゃいけない!!」

慌てて（notice）と書かれたパネルにタッチするゲームマスター。

ゲームマスター「早く妨害元を突き止めなくては・・・」

残り55分（後書き）

次回、波乱のミッション2始動！！謎の装置の意味とは！？

ミッション2&通達1（前書き）

謎の装置の成す意味とは？そして今回のミッションは牢獄の確保者が活躍！！

ミッション2&通達1

残り500000 480000円

(牢獄内)

ピリリリ ピリリ♪

マリオ「ん？メールだ。「ミッション」？」

梓「私達に送っても意味無いんじゃない・・・」

さわ子「まあ読むわよ。」

レン「君達の腕についているのは、时限装置。」

デイジー「残り35分で起動し、強制失格となる。」

梓「回避するには、中央館3Fにあるレバーを下ろし、暗証番

号を出現させ、」

さわ子「装置に入力しなければならない。」

マリオ「なお、エリアに携帯電話無効化装置が出現。」

レン「これにより、逃走者は携帯が使えないため、」

デイジー「確保者たちでミッションを伝えなければならない。」

」

マリオ「おいおい、マジかよ。」

さわ子「皆、牢獄に来て!!」

MISSION 時限装置を解除せよ!

逃走者の腕には、時限装置がついており、ゲーム残り35分に起動。強制失格となる。それを回避するには、中央館3Fに設置されたレバーを下ろし、トレーラーを動かし3桁の暗証番号を出現させ、装置に入力しなければならない！

通達 ミッションを伝達せよ！

謎の人物の操作によりエリア内に携帯電話無効化装置が出現した。これにより、逃走者は携帯電話が使えず、このミッションを知らない。そのため、牢獄にいる者たちで逃走者にミッションをつたえなくてはならない！

ワルイージ 「メール来ないな・・・」

携帯電話が使えないため、メールを受け取ることができない!!!

唯「あれゝ携帯つかないや。」

律「唯ゝ何してんだ？」

唯「あ、りっちゃん!!携帯使える？」

律「ダメダメ、電源切れてる。」

唯「そっかゝ」

ミク「さっきから光ってるこれ、何だろ？」

時限装置だ・・・

(牢獄内)

デイジー「おい誰か来て〜!!」

梓「せんぱい!!」

マリオ「ルイージ!! 姫〜!!」

現在、ミッションを知っているのは、牢獄にいる5人のみ!

K A I T O 「あ、ピーチさん。」

ピーチ 「あら、K A I T Oさん。」

K A I T O 「ピーチさん、この光っているのが何か分かりますか？」

ピーチ 「分かりません・・・携帯も使えないし。」

K A I T O 「僕も、携帯が使えないんです・・・」

ワリオ 「お、ワルイージ!!」

ワルイージ 「ワリオか!？」

ワリオ「ああ。それよりお前、携帯の電源は入るか？」

ワルイージ「俺のはダメだ。」

ワリオ「そうか。俺のもダメなんだ・・・」

ハンター「・・・・・・・・・・。」

KAITO「どうしましょう・・・」

ピーチ「携帯使えないし・・・」

ワリオ「クソッ、どうすれば復旧するんだ!？」

ワルイージ「突然切れたしな・・・」

ハンター「・・・!!」

ハンターに見つけたのは・・・

ワリオ「それはおかしい・・・ハンターだ!!」

ワルイージ「マジで!？」

ワリオとワルイージだ・・・

ワリオ「ハア、ハア・・・」

ワルイージ「ヒイ、ヒイ・・・」

ハンターが視界に捉えたのは・・・

ワリオ「俺様かよ!?!」

ワリオだ・・・

懸命に逃げるワリオ。しかし距離を詰められ・・・

ポン！

ワリオ 確保 残り10人

ワリオ「うわー！俺様の夢がくー！！ワリオ城がくー！！」

夢へと消えたワリオ城・・・

ここまで6人が確保され、残る逃走者は10人となった！！

紬「あら、牢獄がなんだか騒がしいわ。」

紬が、牢獄の異変に気づいた!!

紬「楽しいことでもしているのかしら♪」

レン「あ、誰か来る!!」

梓「ムギ先輩だ!!」

さわ子「ムギちゃん!!」

紬「皆、どうしたの？」

デイジー「実は、残り35分に時限装置が起動して、強制失格になっちゃうの!!」

マリオ「だから、中央館の3Fにあるレバーを下ろして出た暗証

番号を入れなきゃいけないんだ!!」

紬「分かったわ。行ってみる!!」

ミッションの存在を知った紬、これからレバーの元へと向かう!

紬「中央館は・・・あっちね。」

中央館に向かう紬。そこへ・・・

リン「あれ紬さん。どこへ行くんです?」

鏡音リンだ・・・

紬「実は・・・」

説明中・・・

リン「なるほど・・・じゃあ私は、このことを皆に伝えます!!」

紬「お願いします!」

鏡音リンは、ミッションの伝達に動くようだ。

残り45..00 600000円

リン「あ、誰かいた！」

鏡音リンが見つけたのは・・・

ルイージ「うう、怖い・・・」

ルイージだ・・・

リン「ルイージさん!!」

ルイージ「あ、リンさん。どうしたの？」

リン「実は・・・」

説明中・・・

ルイージ「本当に！！強制失格！？」

リン「はい・・・」

ルイージ「僕もレバーの所へ行くよ！！！」

リン「お願いします！！！」

ミッション2&通達1（後書き）

現在、ミッションの存在を知っているのは、紬、リン、ルイーダの3人！！

他の逃走者は、いつ気づくのか！？

番号出現！（前書き）

強制失格まで8分。まだミッションを知らないのは7人。逃走者の運命やいかに！！

番号出現！

残り43..00 648000円（強制失格まで8分）

ルイージ「駐車場に誰かいるな。」

駐車場に誰かを見つけたルイージ。見た人物とは・・・

唯「りっちゃん、これからどうする？」

律「どうするって言われてもな・・・」

唯と律だ・・・

ルイージ「おい!!」

律「ん? ルイージじゃん。どうしたの?」

ルイージ「じ、実は・・・」

(説明中)

唯「それ本当!?!」

ルイージ「うん。そうなんだ。」

律「だったらヤバいな・・・」

唯「私達もいくよ!!」

ルイージ「助かるよ! ありがとう!!」

唯と律と合流したルイージ。しかし、大人数で動けば、ハンターに見つかるリスクが高まる！！

紬「やっと着いたわ。」

ようやく、3Fにたどり着いた紬。

紬「このレバーを下ろせばいいのね。よいしょっと！」

ガコン！ ゴゴゴゴ・・・

紬「あ、トレーラーが動き始めたわ。番号は・・・「407」ね。」

装置に番号を打ち込む紬。

紬「あ、光らなくなったわ！」

琴吹紬 MISSION CLEAR

ワルイージ「この光嫌だな」

まだミッションに気づいていないワルイージ。その近くに、

ハンター「……………」

ハンター。

ワルイージ「いかにも何かありそうだな・・・」

ハンター「・・・。。。」

ハンターは、曲がり角の先にいる。

ワルイージ「駐車場に行くか・・・ってマジかよ!!」

ハンター「・・・!!」

見つかった・・・

ワルイージ 「うおーーーーー!!」

必死に逃げるワルイージ。逃げた先には・・・

ミク 「あ、ワルイージさん。ってハンター!」

初音ミクだ・・・

ワルイージ「このーーーーー!」

ミク「何で私までーーーー!?」

巻き添えだ・・・

ワルイージ「負けるかぁーーーーー」

そしてワルイージが初音ミクを追い抜き、ハンターの標的が初音

ミクに変わった!!

ハンター「(LOCK ON MIKU)」

ミク「キャーーーーー!!!!!!」

ポン!

初音ミク 確保 残り9人

ミク「ワルイージさん……」

巻き添えをくらった、ボーカロイド……

リン「先に解除してからのほうがいいよね。」

といい、3Fにやってきた鏡音リン。

リン「あ、もうレバーがおろしてある。紬さんかな？」

レバーは、既に紬が下ろしている。

リン「4, 0, 7つと・・・よし消えた!!」

鏡音リン MISSION CLEAR

律「あ、ちょっとストップ!!」

ルイージ「どうしたの?」

突然、止まる律。

唯「りっちゃん？」

律「あれ、滯じゃね？」

ルイージ「本当だ、滯さんだ。」

唯「おーい滯ちゃん」

滯「おいおい、こんなに集まってどうしたんだ？」

ルイージ「実は・・・」

説明中

滯「ホントか！？私もいくよ！！」

律「よし、4人でいくぞ！！」

唯「オーーーーー!!」

ルイージ「お、オー・・・」

現在、次のような状況である。

時限装置解除・・・紬、リン

ミッション既知・・・ルイージ、唯、律、滯

ミッション未知・・・KAITO、ピーチ、ワルイージ

強制失格まで5分。間に合うのか!?

番号出現！（後書き）

ワリオ・・・中央館1Fで確保

ミク・・・駐車場で確保

補足情報です。

ミッション2終了！強制失格者は？（前書き）

遂にミッション2終了！！果たして全員时限装置を解除できるのか
！？

ミッション2終了！強制失格者は？

残り40…00 720000円（強制失格まで5分）

ルイージ「着いた〜」

律「ちゃっちゃと解除しようぜ。」

唯「そうだよ〜」

漣「私はハンターが来てないか見張っているから。」

ルイージ「407だね。」

唯「おお！消えた！！」

律「漣！407だ！！」

漣「分かった！」

ルイージ、平沢唯、田井中律、秋山澪
MISSION CLE
AR

これで、まだミッションをクリアしていないのは、KAITO、
ピーチ、ルイージの3人。なお、この3人はまだミッションを知
らない！

ルイージ「ここら辺に隠れるか。」

ルイージが隠れ場所を選んだのは、番号のある中央館3F。

ルイージ「こんな感じで・・・ん、なんだありゃ？」

そして、番号に気づいた！！

「ワルイージ 何だあの数字・・・そうか！これに打ち込むのか！
」

さらに、装置にも気づいた！！

ワルイージ「4，0，7・・・お、消えた消えた♪」

ワルイージ MISSION CLEAR

ワルイージ「何だった・・・この装置。」

これで、装置を解除していないのは、KAITO、ピーチの二人。
このままでは、強制失格となってしまう！！

強制失格まで 3分

KAITO「どうしましょう？」

ピーチ「そうですね・・・」

その二人の背後から、

ハンター「・・・・・・・・・・。」

ハンター。

KAITO「とりあえず僕はあっちへ・・・来た!!」

ピーチ「え!？」

ハンター「・・・・・・・・!!」

ハンターも、二人を見つけた!

KAITO「フー。撒いたかな?」

トレーラーを利用し、ハンターの視界から消えた。

ピーチ「ハア、ハア・・・」

一方、ピーチはまだハンターに追われている。

逃げる先に、別のハンター。

ハンター「……………」

ピーチ「前からも!?!」

挟まれた……

ポン！

ピーチ 確保 残り8人

ピーチ「アーン、悔しい〜！！」

ハンターに挟まれると、確保はほぼ免れない！！

（牢獄内）

レン「確保情報！」

さわ子「誰が捕まった？」

レン「ピーチ確保！残り8人！！」

マリオ「姫ーーーーー!!」

梓「静かにしてください。」

マリオ「……ハイ……」

強制失格まで 2分

KAITO「誰とも会わないなあ……」

KAITOは、まだ时限装置を解除していない。このままでは、2分足らずで強制失格となる!!

リン「後誰が解除していないのは誰？」

ルイージ「もう皆解除しているよね？」

律「もう解除していないとマズいよな・・・」

強制失格まで 1分

KAITO「中央館に行こう。」

唯「誰も失格にならないければいいけど・・・」

ワルイージ「このままゲーセンに隠れるか。」

強制失格まで 30秒

KAITO「2Fじゃ見つかるかな・・・3Fに行こう。」

漣「失格なんて嫌だな」

紬「でも、何で携帯が使えないのかしら？」

強制失格まで 15秒

ワルイージ「おいKAITO！装置解除したか？」

KAITO「へ？何のことですか？」

強制失格まで 10秒

ワルイージ「エーーーーー！お前やばいぞ！さっさと番号打てよ！！」

KAITO「へ？へ？」

8

ワルイージ「ダーーーーーもう！貸せ！！」

7

ワルイージ「4, 0, 7と・・・よしOK！！」

KAITO MISSON CLEAR

KAITO「あ、ありがとうございます・・・」

ゲームマスター「危なかった・・・こんな装置はさっさと消してしまおう。」

シュン!!

ゲームマスターにより、携帯電話無効化装置が撤去された。

残り35..00 840000円

律「あ、携帯戻った。」

ルイージ「携帯は使えないと困るよね。」

湊「お、「ミッション2結果・・・」」

「K A I T O」「全員時限装置を解除。強制失格者は無し。」よか
った」

唯「子供の頃を思い出すな」

公園内のトンネルに潜む、唯。その近くに、

ハンター「……………」

ハンター。

唯「小さい頃、憂と一緒にブランコこいだっけ。懐かしいな」

ハンター「・・・・・・・・。」

唯「あ、ムギちゃんだ。ほら、展望台の上。」

ハンター「・・・・・・・・。」

徐々に迫る、不穏な足音。

ハンター「・・・・・・・・。」

ハンターが、唯の潜むトンネルに近づく。

唯「あ、ハンターも見えた。でも木が邪魔で見えないや。」

ハンター「……………」

そしてハンターが唯のいるトンネルを覗いた！

ハンター「……………！！」

ポン！

平沢唯 確保 残り7人

唯「え！いたの！？全然気づかなかったよ」

一瞬の、出来事……

リン「メールだ。」

紬「公園にて平沢唯確保。残り7人。」唯ちゃん・・・」

ワルイージ「逃走者も半分切ったな・・・」

(牢獄内)

梓「唯先輩捕まった・・・」

さわ子「後は滯ちゃん、りっちゃん、ムギちゃんね・・・」

ワリオ「ワルイージがまだ残っているのは驚きだなあ。」

ここまで、9人が確保され、残る逃走者は7人となった！！

ミッション2終了!強制失格者は?(後書き)

半分以下となった逃走者。逃げ切る者は現れるのか!?

残る逃走者…ルイージ ワルイージ 鏡音リン KAITO 秋山
濤 田井中律 琴吹紬 7人

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1237ba/>

逃走中 ～謎の人物との対決～

2012年1月9日18時55分発行